

反映状況票

(単位：百万円)

所 管	事 案 名	調 査 区 分	取 り ま と め 財 務 局 名	22 年度予算	23 年度政府案	増▲減額	反映額
文部科学省	(21)スクールカウンセラー等活用事業等	財務局	東北財務局	13,093 の内数	9,450 の内数	▲3,643 の内数	—
事案の概要	学校・家庭・地域の連携協力推進事業のうち、問題を抱えた児童生徒への対応等を目的として、教職員ではない、スクールカウンセラー等、スクールソーシャルワーカー、スクールヘルスリーダーを学校現場に配置する事業（スクールカウンセラー等活用事業、スクールソーシャルワーカー活用事業、スクールヘルスリーダー派遣事業）。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 児童生徒のニーズと相談状況

- ・児童生徒のアンケート結果によると、児童生徒の学校での相談先は、小学校では「担任の先生」が最も多く、中学校では、「相談したいと思う人はいない」が最も多く、次いで「担任の先生」であった。
- ・相談人数等（延べ人数）における相談者別（児童生徒、保護者、教職員）の割合は、スクールカウンセラーについては教職員が多くなっているが、子どもと親の相談員等については児童生徒が最も多くなっている。

2. 効率的な配置

- ・1時間当たりの報酬単価（全国平均）は、スクールカウンセラーが約5,100円、スクールカウンセラーに準ずる者が約3,100円となっているが、「スクールカウンセラーに準ずる者であっても同等の活動ができる」と回答した都道府県等が約6割となっている。

3. 非常勤職員の活動内容の重複状況

- ・問題を抱えた児童生徒への対応における養護教諭の活動内容において、「スクールカウンセラーへの橋渡し役」等の回答があることから、養護教諭への指導・助言等のスクールヘルスリーダーの役割をスクールカウンセラーが一部果たしている面があると考えられる。

反 映 の 内 容 等

○スクールカウンセラーに準ずる者の活用

- ・予算執行調査結果をふまえ、「スクールカウンセラー」に比べ報酬単価の安価な「スクールカウンセラーに準ずる者」を活用することにより予算額を圧縮した。

○スクールヘルスリーダーの見直し

- ・予算執行調査結果、執行率を勘案し別メニューと統合。